令和４年補正GFPフラッグシップ輸出産地形成プロジェクトでの成果・輸出拡大の要諦・他産地に展開可能な示唆（事業実施主体：静岡県かんしょ輸出促進協議会、品目：かんしょ）

課題	取組	成果
輸出先国への供給量の確保 ✓ 海外ニーズはあるが、供給量の確保が必要 ✓ 生産農地の確保が必要	**荒廃農地の再生と新規作付** ✓ 荒廃農地の再生と土壌改良（天地返し等）を推進	**荒廃農地からの転作約19haで作付け** ✓ 荒廃農地を19ha再生し、新規かんしょの作付けを実施
輸出先国のニーズに合った青果用のかんしょの作付けへの切替え ✓ 輸出マーケットが見込めるのは加工用ではなく青果用のかんしょ ✓ 地域農業者と連携し加工用から青果用への作付切り替えが必要	**青果用への作付切替え、生産の効率化** ✓ 加工用を生産していた農家に対して、栽培指導（病害対策、防除体系等）を実施 ✓ 大規模営農に対応する機材導入やIoT機器を活用した作業効率化を支援	**青果用かんしょの生産拡大及び生産効率化** ✓ 加工用から単価の高い青果用かんしょへの生産の切替えを行うこと等により、全体として青果用圃場25haを確保（前年５ha） ✓ IoTセンサーを搭載したトラクターやドローン防除を導入
流通コスト低減に向けた輸出体系の構築 ✓ 輸送費が高騰する中、流通コスト低減に資する輸出体系の改善が必要	**集荷の効率化、産地バンニングの実施** ✓ 集荷効率化のための収穫用コンテナ無料貸与や中継地点の設置 ✓ コンテナ満載の取組や、産地バンニングの実証	**輸出の輸送コスト低減** ✓ 選果拠点を契約農家でも納品しやすい立地に移転し、集荷を効率化 ✓ 自社選果場で産地バンニングを行い、京浜港に加え清水港からの輸出を実現

令和４年度
輸出額　約900万円
輸出量　27トン

令和5年度（実績見込）
輸出額　約1.3億円
輸出量　約368トン